



# 翔 洋

令和8年3月1日  
PTA通信  
総務部編集  
第59号

## ご卒業おめでとうございます

### それぞれの道で学び続けて

PTA会長 日向 秀樹

厚岸翔洋高等学校をご卒業される皆さん、誠におめでとうございます。保護者を代表し、心よりお祝い申し上げます。

皆さんはこの三年間、授業や実習、地域と関わる活動を通して、社会に出るための基礎を着実に身につけてこられました。本校で培った学びは、これからの進路の違いに関わらず、必ず皆さんの土台となるものです。

これから、地元で働き、地域の産業を支えていく人もいれば、進学や就職を機に、地域を離れ、新たな環境で挑戦する人もいることでしょう。どの道も等しく価値があり、どれもが皆さん自身の未来につながる大切な選択です。ここで得た経験と誇りを胸に、それぞれの場所で力を発揮してほしいと思います。また、就職する人にとっても、進学する人にとっても、学びはここで終わりではありません。働きながら学ぶこと、学び続ける姿勢こそが、社会で信頼される人材へと成長する力になるはずで

そして今日の日を迎えるまで、日々温かく見守り、支え続けてくれたご家族への感謝の気持ちを忘れず、成長した姿でその思いに応えてください。また、三年間にわたり、生徒一人ひとりに寄り添い、地域と学校をつなぎながらご指導くださった山本校長先生をはじめ、教職員の皆様に、保護者を代表して深く感謝申し上げます。

結びに、卒業生の皆さんが、それぞれの進む場所で人とのつながりを大切に、社会を支える存在として歩まれることを心より祈念し、お祝いの言葉といたします。



### 「ただ、やってみた!!」

校長 山本 十三

人は、好きなことに触れているとき、時間の流れを忘れてしまうものです。気づけば夢中になり、努力している感覚すらなく、自然と上達していく。そんな積み重ねが、やがて「才能」と呼ばれる形になることもあります。けれど、最初から「好き」だと気づく人はそう多くはないものです。なんとなく始めたこと、深く考えずに手を伸ばしたことが、いつの間にか自分の一部になっていた、そんな経験が誰にでもあるはずで

す。 「ただやってみた!!」という小さな行動には、未来を変えるほどの力が潜んでいます。

好きなことに向き合っているとき、人は他者からの評価をあまり気にしません。「役に立っている」「価値がある」といった外側と関係したことなく、その行為そのものが、自分の存在を確かに感じさせてくれるからです。この“好きでいられる時間”は、人生を豊かにする大切なものとなります。

みなさんには、時間を忘れて没頭できるものがありますか。もし一つでもあるなら、ぜひ二つ、三つと増やしてみてください。環境が変わっても続けられる好きなことがある人は、どんなときも心がしなやかでいられます。

これからも、新しいことを前にして「面倒だから」と立ち止まらず、まずは一步踏み出してみてください。その一步が、思いがけない「好き」につながるかもしれません。

そして、この春、巣立っていく卒業生のみなさんへ。最後に、この言葉を贈ります。

「一視同仁」

すべての人を分け隔てなく見つめ、広い視野で世界と向き合ってください。

その姿勢が、みなさんの挑戦をきっと支えてくれると思います。



# 3年間の軌跡



## 原点

3年普通科 担任 澤田 篤生



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして保護者の皆様、お子様のご卒業を心よりお慶び申し上げますとともに、本校の教育活動に多大なるご支援をいただいたこと、厚くお礼申し上げます。

3年間の高等学校の課程を修了し、4月より新たな道へ進みます。希望の道に進める人もいれば、別の道を歩むことになる人もいます。ただ、忘れてはいけないのは、「その環境で何をするか」が最も大事だということです。東大に行って墮落した生活を送る人よりも、生きがい・目標を持ち、地元厚岸町に貢献する仕事に勤める方が何倍も価値があります。皆さんの活躍を祈っています。

さて、最後に皆さんと一緒に考えたいことがあります。

「ゾウから鼻をとったらゾウでなくなる。キリンから首を取ったらキリンでなくなる。では、人間から何をとったら人間でなくなるのか」皆さんは、なんと答えますか。

この問題に答えはありません。言い換えれば、あなたが思い浮かべたことこそが真実なのです。この質問は、人間らしさを問うているのだと思いますが、皆さんの思い浮かべたことがこれまでの人生で学んできたことであり、自分の原点になることです。新たな道のりには様々な障壁があります。そんなときには、原点に立ち返ってください。【原点に返る】という行為は、単に過去を振り返ることでなく、未来へ進むための「羅針盤（コンパス）」を再調整するという極めて前向きで重要なプロセスです。さらに、「なぜ（WHY）」を思い出し軌道修正ができること、「慢心」を防ぎ、謙虚さを取り戻せることができます。皆さんは、この高校3年間はその原点そのものを確固たるものにする期間だったのではないのでしょうか。

「人間から何をとったら人間でなくなるのか」今後の人生で立ち止まった時には考えてみてください。離れても君たちの未来を応援しています。

## 「一步の考動」と「一生の縁」3年海洋資源科 担任 藤谷 怜奈



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様におかれましては、お子様のご卒業に心よりお祝い申し上げますと共に、今日まで本校の教育活動に多大なるご理解とご協力を賜りましたこと、この場をお借りして感謝申し上げます。

さて、卒業生の皆さんにとってどんな高校生活だったでしょうか。友人と共に協力したこと、思うようにいかず壁にぶつかり悔し涙を流したこと、たくさんの新しいことを知った3年間だったことでしょうか。進路は様々ですが、進学・就職する皆さんへ伝えたいことが2つあります。

1つ目は、「失敗しないこと」ではなく「失敗から何を学び、どう立ち上がるか、どう行動するか」です。自分のペースでよいので、自分の考える「正解」に向かって立ち上がってください。心が折れそうになった時に別の道に行くことは簡単なことですが、もう一度立ち上がり、努力してみることで見える未来もあります。

2つ目は、「人との繋がり」です。皆さんの明るさや仲間を思いやる温かい心に、担任として何度も救われました。これからも人との出会い・繋がりを大切にしてほしいと思います。良い人間関係は一生の財産です。私自身も23名の卒業生と出会い、担任として3年間近くで成長を見ることができたこと、間違いなく一生の財産となりました。

「誰かのために」や「人を喜ばせたい」と思いやりのある行動が素晴らしい23名。この3年間、厚岸翔洋高校で学んだことに自信をもってほしいと思います。そしてこの学校で様々な経験から築いてきた人間関係は、必ずこれからの皆さんの糧になります。

「人・挨拶・感謝」を大切にすることを忘れず、新たなステージで活躍することを祈っています。改めて、卒業おめでとうございます。また会いましょう。